様式 2

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	11・学図	第 1～3 学年	書写 732	中学校書写
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　硬筆 第 1 学年では、点画の連続に注意して書いたり、楷書と行書の違いを考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く、第 2 学年では、筆脈に気を付けて書いたり、目的や場面に合った書体を考えたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く、第 3 学年では、職業体験の礼状や年賀状を書いたり、筆記用具を工夫して壁新聞を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くなど、目標を達成できるようになっている。 ○　毛筆 第 1 学年では、筆順や字形に注意して書いたり、仮名と調和させて漢字を書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く、第 2 学年では、行書の筆使いを調べて書いたり、楷書との違いに気を付けて書いたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く、第 3 学年では、筆記用具を工夫して掲示物を書いたり、のし紙を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くなど、目標を達成できるようになっている。 ○　硬筆と毛筆の関連 第 1 学年では、毛筆の学習の後に、「硬筆で書いてみよう」において、硬筆による古典の歌やことわざを書く活動、第 2 学年では、毛筆の学習の後に、「硬筆で書いてみよう」において、硬筆による古典の文学作品の冒頭を書く活動、第 3 学年では、これまでの毛筆の学習を生かして、「書写を生活に生かそう」において、筆記用具を工夫して寄せ書きを書く活動が取り上げられている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 第 1 学年では、「確かめよう」において、文学作品の一部を書くなど、第 2 学年では、「確かめよう」において、お知らせのポスターを楷書で書いたり、聞き取りメモを行書で書いたりするなど、第 3 学年では、「作品を作ろう」において、近代の短歌を書いた短冊を作るなど、実生活との関連を図った学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 第 1 学年では、楷書の仮名の筆使いと字形を学習した後に、行書の筆使いを取り扱い、第 2 学年では、行書の点画の連続を学習した後に、行書と平仮名の調和を取り扱い、第 3 学年では、毛筆と硬筆の使い分けを学習した後に、短冊などの作品づくりを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○　内容の分量 総ページは、122 ページで、前回より 97%増となっている。			
使用上の配慮等	○　「竹取物語」や「少年の日の思い出」、「枕草子」など、国語科との関連を図った教材を掲載したり（1・2 学年）、各学年の内容に関連した文字や書写の知識に関する内容をコラムの形で取り上げた「書写の窓」を掲載したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習の進め方について、「試し書き」、「練習」、「まとめ書き」、「硬筆で書く」の四段階に分けて学習内容や手順を示したり（全学年）、生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に学習事項に関連した教材や資料を集めた「資料編」を掲載したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　生徒が学習の見通しをもつことができるよう、巻頭に「なぜ毛筆で学習するの？」を掲載したり（全学年）、3 学年を合わせて一冊の合本としたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいレイアウトにするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　自主自律及び共同の精神を養うために、社会的活動に関わる書写事例が見て取れるようになっている。 ○　生徒の書写に対する興味・関心を引き出すために、書の歴史や観賞用のページを多く設けるとともに、「臨書」や「篆刻」を掲載するなど発展的な学習ができるつくりになっている。 ○　「学習の進め方」を掲載したり、自己評価欄の項目を必ず複数取り上げたりするなど、生徒が自学自習できるようなつくりになっている。			